

再任のご挨拶



理事長 千原 武美

平素より東京トラック事業健康保険組合の事業運営に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年12月の任期満了に伴う役員改選において、再び理事長を務めさせていただくことになりました。

さて、政府の推し進める医療DXの一環として、従来の健康保険証は廃止となり、昨年12月2日よりマイナ保険証を基本とする仕組みへと移行となりました。各種情報の連携が可能となり、ご自身に合ったより良い医療を受けられるほか、医療現場での負担軽減などさまざまなメリットがあります。医療機関ではマイナ保険証をぜひご利用いただきますようお願い申し上げます。

また、令和6年における出生率が過去最低となる中、団塊の世代がすべて75歳以上となる「2025問題」へ突入し、少子高齢化はますます加速しております。今後も団塊ジュニア世代が65歳以上となり高齢化のピークを迎えるとされる「2040年問題」への対応も迫られており、社会保険制度の持続も危ぶまれる中、令和8年4月より「子ども・子育て支援金制度」が始まります。この制度は、子どもや子育て世代を社会全体が支える仕組みとなっており、将来的に出生率の向上、労働力不足の解消、ひいては国民皆保険制度の存続へと繋がることを願うばかりです。

健康保険組合といたしましては、特定健診・特定保健指導の受診勧奨や健康管理アプリ、脳MRI健診補助事業など、皆さまの健康づくりのための保健事業に引き続き取り組んでまいります。

昨今の医療費の増加や高齢者医療制度拠出金により、健康保険組合の財政は大変厳しい状況ではありますが、医療費の適正化を推進するなど、これからも健全な財政運営に取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。